

	公表	事業所における自己評価総括表
--	----	----------------

○事業所名	放課後等デイサービスプラス		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 8日		～ 2026年 3月 2日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 22	(回答者数)	20
○従業者評価実施期間	2026年 2月 2日		～ 2026年 2月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 9	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 4日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	施設が広く、子供達が伸び伸びと過ごすことができます。雨の日や、暑さ、寒さで外出しにくい日でも走り回って遊ぶことができますので、子供達は施設内でも十分体を動かして活動することができます。	感覚統合の機器を必要に応じて取り付け、取り外しをし、空間を工夫して使用するようになっています。また危険がないように、マットや絨毯を敷き、子どもたちが体を動かし、体幹を鍛えていけるような場所作りをしています。	理学療法士が在籍しているため、専門的な視野からの活動を取り入れながら、さらなる子ども達の心身の健康、成長に繋がる活動をしていきたいと思っています。
2	児童指導員が多いです。児童の定員10人に対して5人～8人の指導員がおり、子ども達の支援、サポートをしています。	イベントでは季節感を大切にしたり、楽しく先手を動かして工作ができるように教材を用意したりしています。またクッキングでは子どもが自分でできることを大切にしながら取り組み、食育も心がけています。	イベント時に保護者や兄弟児、地域の方が参加できる事が無いかを模索しながら、人との繋がりの楽しさや温かさを感じられる支援を目指しています。
3	感覚統合の遊具があり、楽しく体を動かす事ができます。さらに遊具の使い方を工夫したり、イベントで使用したりして体幹を鍛えていけるようになっています。	自主的に勉強や遊びに取り組めるよう、できた事は十分に認めて、自信を持つことができるような支援を心がけています。	地域での活動がなかなかできていないので、公園の清掃やクリーン作戦等の検討をしています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流があまりできていないと思います。	地域の方や近所の方との交流ができていません。いろいろな交流を模索しながら、子どもたちのより良い支援、活動に繋がるよう努めていきたいと思っています。	学校や地域との連携は考えていきたいと思っています。限られた時間の中で有益な情報交換、共有ができるように、信頼関係を築いていきたいと思っています。
2	保護者会や兄弟児が参加できるようなイベントができていません。	職員とパート職員との間での連絡や連携が取れていない時があるように思います。どのようにすれば漏れがなく情報共有ができるのかを職員で考えている所です。	職員間での話し合いの場と、意見が言いやすい雰囲気作りを進めていきたいと思っています。一部の意見だけでなく、皆で意見を出し合い、考えていけるよう努めています。
3	安全上の理由から施設は常に施錠していますが、それが閉鎖的に感じる事もあります。	学校との情報交換、意見交換、連携等はまだまだできる部分があると思います。特に学校休業日に午前中のみ学童に通っている子どももおり、学校や児童館との連携を強めていきたいと思っています。	相談支援事業所や学童との情報共有ができるように連携を強めていきたいと思っています。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス プラス

公表日 2026年3月11日

利用児童数 23名(家庭数22)

回収数 20

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	0	0	0	・お部屋で鬼ごっこをしたと喜んでいま す。スペースを工夫しながら作って下 さっていると感じます。・勉強スパー ス、遊びスペースが十分に確保されてい る。・室内でも運動できる道具がたくさ んあり、雨でも室内で体を動かすことが できる。	広く子どもが走り回れる環境であるとし ても、怪我なく安全に楽しめるように、 日々環境整備をしていきたいと思いま す。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	19	0	0	1		基準よりも多めに配置するようにしており、 これからも細やかな支援を維持した いと思えます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	1	0	0	・集団生活という感じの方が強い印象で す。子供達が皆で生活するという事を覚 えられて良いなと思っています。	生活をする場所なので、整理整頓、清潔 を心がけ、子どもと共に安心できる環境 を整えていきたいと思えます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思 いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思 いますか。	17	0	0	3		毎日の清掃、除菌は行っており、これか らも維持していきます。
適 切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	20	0	0	0	・子供達が皆のびのびしているのが印象 的でした。	それぞれの子どもが集団生活の中で自分 らしさを発揮し、楽しんで活動できる空 間作りをしていきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	20	0	0	0		これからも維持していきたいと思いま す。
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されて いると思いますか。	20	0	0	0	・面談等で子供について詳しく話し合っ た上で計画書を作ってくださいいま す。・計画作成の面談もとても丁寧 ・面談内容から子供に合った支援計画を作 成してください。	日頃の子どもの様子をしっかりと見て て、保護者の方の意見や思いをお聞きし ながら作成していきたいと思えます。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思 いますか。	18	0	0	2	・家族への助言はいつも的確で安心感 がある。	年に2回の個別面談にて子どもの様子を 話し合い、作成しています。ガイドライ ンに添った立案をしています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思 いますか。	20	0	0	0		これからも維持していきたいと思いま す。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思 いますか。	18	0	0	2		ブログや月々の通信でお知らせするよ うにしていますが、分からないというご 意見があったのでさらに伝わる工夫をして いきたいです。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会 がありますか。	4	1	0	15		なかなかできておらず、これからの課題 として考えていきたいと思えます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	20	0	0	0		これからも維持していきたいと思いま す。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされま したか。	19	0	0	1		分からないと思う方がいなくなるよう に説明をしっかりとしていきたいと思いま す。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレー ニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていま すか。	6	4	1	9		家族支援プログラムはできておらず、こ れからの課題として考えていきたいと思 います。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態に ついて共通理解ができていると思 いますか。	20	0	0	0	・毎回連絡帳に様子を細かく書いて下さ り安心します。・連絡帳にしっかり書い て下さっている。	これからも保護者の方との連携を大切に 支援してまいります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	1	0	0	・まだ通い始めたばかりです。職員の 方々の関わりに感謝しています。	年に2回の面談や送迎時等子どもの様子 を伝えさせていただいています。またご 要望があればいつでも対応させていただ きます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思 いますか。	19	1	0	0		共感的支援を感じていただけるように伝 え方をさらに工夫していきたいと思いま す。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	2	4	10		ご家族、兄弟間への支援提供はなかなか できていないのが現状ですが、交流の機 会等考えていきたいと思えます。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	0	0	3		いつでもご相談していただける体制を維持するとともに、しっかり周知していききたいと思います。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	0	0	1		これからも維持していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13	0	0	7	・毎月の通信で行事の様子等を知ることができて嬉しいです。	ホームページや毎月の通信でお知らせしています。また自己評価もホームページに掲載しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	0	0	6		わからないという回答が減るように、周知、報告をしていきたいと思っています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	1	0	6		マニュアル策定、避難訓練等実施していますが、周知していけるよう善処します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	0	0	10		避難訓練等行っており、ブログ等でお知らせしていますがさらに分かりやすくお伝えできるようにしていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	0	0	4		安全には十分に気を付けていますが、これからも維持していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19	0	0	1	・怪我をした際はしっかり連絡を下さっている。 ・まだ経験していません。	送迎時や連絡帳、またはお電話でお伝えするようにしています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20	0	0	0	・子ども自身はありますが「楽しかった！」と笑顔で帰ってくるので親としてプラスさんに通えるようになって安心、嬉しく思っています。	子ども達が安心、安全に、また楽しく過ごせる中で成長していけるようにあたたかな居場所作りに努めていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	19	1	0	0	・利用日を毎回心待ちにしています。 ・お友達との交流を楽しんでいる。	友達や職員との触れ合いや交流を通じて、楽しんで通える場所となるよう努めていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	20	0	0	0	・子どもの特性を受け入れていただき子どもに合った支援、サポートをして下さっていてありがたいと思っています	日々職員間で子ども達の成長、課題を確認し合いながら、より良い支援に繋げていけるようにします。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス プラス		公表日		2026年 3月 11日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		9	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		9		職員は常に5, 6名配置されており細やかに支援ができます。	できる限り今の人員配置を維持し、細やかな支援に繋がりたいと思います。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		9		勉強機の側にはパーテーションがあり、勉強に取り組む環境が整っています。またバリアフリーで、ボルダリングやボールプール等も設置されています。	子どもに分かりやすく、使いやすい環境作りを続けていきます。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		9		整理整頓、掃除、消毒等をこまめに行い、心地よく過ごせる環境作りを心掛けています。	これからも整理整頓、掃除、消毒等を心がけていきます。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		5	4	指導室には学校で使用する机と椅子、パーテーションが配置されています。また気分転換時には事務室を使用することもあります。	完全な個室は難しいですが、さらに落ち着ける環境を作れるように工夫していきたいと思っています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		7	2	毎日、始業後に前日の活動の振り返り、記録の時間を設けており、日々子供達の様子を職員で共通理解するように努めています。	活動の振り返り時にいない職員にはノート等で確認してもらうようにしていますが、さらに徹底していきたいと思っています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		9		連絡帳や個別面談、送迎時等意向はいつでも伺えるようにしています。	ご意見、ご意向はできることは職員で確認しながら業務改善に努めています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		8	1	日頃からお互いに意見を言いやすい雰囲気作りをしながら、職員会議等で出た意見を改善に向けて取り入れるようにしています。	これからも日々改善していけるように努めてまいります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		2	7	第三者による外部評価は行えていませんが今回の結果等を業務改善に繋げるべく会議をしました。	日々業務改善に向けて善処していきたいと思っています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		3	6	希望をすれば受けられる環境です。	研修等受ける機会を増やす事を検討していきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		9		ブログや毎月の通信等で土曜日や学校休業日等の活動を、写真も掲載しながら公表しています。	支援プログラムが適正かを日々見直し、検討をしながら作成し、適正に公表していきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		9		日々子どもの支援をしながらより良い支援に向けて共通理解、分析を行い作成しています。	子どもへの多角的アプローチや職員の共通理解等子どもや保護者のニーズを計画書に反映させていけるように努力します。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		9		面談、日々の振り返り、会議を元に立案し、全	今後もさらに多角的に子どもを捉え、最善の利益を考慮していけるように努めます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		9		職員で共通理解、毎日の振り返り等計画に添って支援できるよう努めています。	日々共有、達成ができていないかを職員間で確認しながら支援していきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		9		日々の振り返り等で子ども達の成長や目標を再確認し、共通理解するように記録し、参加できない職員は記録を確認するようにしています。	確認漏れがないかを確かめながら、きめ細やかな支援をしていきます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		9		個別支援計画書にそれぞれの支援についての項目を設けており、具体的に目標や支援を定めるようにしています。	具体的に立案できているか、分かりやすい表現を再度見直し、より良い計画書となるよう努めます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		9		アイデアを出し合いながら、マンネリにならないように努めています。	職員間で季節感を大切にし、子どもが楽しんで、達成感を味わえるようなプログラムを立案するようさらに情報収集等していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		9		担当を職員で分担し、季節感や行事も大切にしながらプログラムを立案しています。	いろいろなプログラムを用意するようにしています。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		子どもに合わせて、楽しんで集団活動に参加できそうな計画立案をしています。	プログラムの中で、個人でできる事や集団でルールや約束を守る事等を織り交ぜ、計画を作成しています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		当日の朝に前日の振り返りとともに、当日来所する子どもについて気を付ける事を確認し合い、連携して支援をしています。	確認、連携漏れがないように、日々見直していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	2	職員間で気になったことなどはすぐに話せる環境と雰囲気作りをしています。また振り返りは翌日の朝に行っています。	振り返りで職員が一人ひとり責任を持って意見していけるように自己研鑽に励みたいと思います。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		毎日の振り返りをノート記入とパソコン入力をして、検証・改善に役立てています。	職員間での確認漏れがないように努めています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		年に2回保護者の方とモニタリングを行い、保護者の方の意向や子ども達の現状を踏まえた計画立案をしています。	必要性、ご要望があればいつでも面談は可能ですが、保護者の方にも気兼ねなくいつでも声をかけていただけるように周知が課題です。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9		はい	地域交流の機会の提供については不十分な面もあり、地域との繋がりが大切にした活動を考えていきたいと思っています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		自分で過ごし方や遊びを決めたり、毎日のおやつや飲み物も自分で選んだりしています。	自己決定できる場を作ると共に、自分で選んだ満足感や達成感をしっかりと味わえるような支援をしていきたいです。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	1	管理者や児童発達支援管理責任者が参加するようにしています。	これからもより良い支援のために支援者会議等積極的に行っていききたいと思っています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	3	学校との連携は送迎時の連絡等で必要に応じて行っています。夏休みに学校の先生が見学に来られる事もあります。	体制は整っていると思いますが密な連携までは至っておらず、連携の機会を考えていきたいと思っています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		学校の送迎時には情報共有をしたり、ホームページで行事予定を確認したりしています。	学校送迎が重なってしまった時の連絡等を適切に行い、信頼関係を大切にしていきたいです。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	3	見学等の聞き取りの時に保護者の方から聞くようにしています。	こちらから情報共有をお願いする事はあまりありませんが、必要があれば行いたいと思います。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		5	ご要望があれば行っています。	ご要望、保護者の方のご希望があれば行いたいと思います。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		9	顧問より助言、アドバイスはいただいています。	連携は図れていませんが研修は受けられる環境です。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	8	近くの公園で学校の友達がいると一緒に遊ぶ等の交流はあります。	なかなかできておらず、機会があれば行いたいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	8	なかなかできていません。	参加できていないので議題や開催時期を調べていきたいと思っています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		はい	年に2回の個別面談や連絡帳、送迎時の連絡等日頃から共通理解をするように努めています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		9	はい	研修のお知らせ等が来た時には連絡帳にチラシを入れさせていただきお知らせしています。
保護者への	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		はい	施設を見学された時や契約時などに説明しています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		年2回の個別面談、またご要望があればいつでも意向を伺えるようお声がけをしています。	現状維持を努めます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9		個別面談で支援計画書の達成具合、子どもの様子を話し合い、作成しています。できあがった計画書は一度確認していただき署名をいただいています。	現状をしっかりと維持していきたいと思っています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		はい	いつでもご要望があれば面談やご相談のお時間を取るようにしています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		9	今のところご要望がないですが、機会を見つけて意見等お聞きしたいと思います。	なかなかできておらず、機会があれば行いたいと思います。

説明等	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		はい	すぐに職員間で共有するように努めています。さらに不備がないように努めていきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9		ブログや毎月の通信でお知らせしています。	さらに分かりやすさや楽しさが伝わる様な発信をしていきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		ブログや毎月の通信等で写真を使用する時には顔を加工して使用し、個人と特定できないようにしています。	これからも個人情報の取り扱いには十分に留意していきます。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		可能であれば学校の個別支援計画を見せていただき、サインの統一等子どもが戸惑う事無く生活できるよう心がけています。	他国の保護者の方とのやり取りは翻訳アプリを使用する等していますが、さらに意思疎通ができるように努めていきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		9	見学等はいつでもしていただける環境です。	なかなかできておらず、機会があれば行いたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	7	職員では年に一度程度の研修をしており、できていると考えます。	ご家族にはまだまだ周知できていません。周知の仕方を考えていきたいと思います。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	2	避難訓練時には紙芝居等を使って子ども達に分かりやすく伝えるように心掛けています。	今後も、子どもに分かりやすく、また大切さが感じられるように実施していきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		はい	今後も維持します。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1	はい	今後も維持します。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	2	はい	安全は常に留意しながら支援をしています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	1	はい	周知はできていないと思うので、今後も周知する事に努めます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		はい	ヒヤリハットがあれば詳細、原因、今後の対応を記入しているが再発防止についても具体的に考える機会を設けていきたいと思います。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	3	はい	希望すれば研修等受けられる環境です。虐待防止に向けてさらに日々対応を考えていきたいと思います。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	1	はい	今後も維持します。	